真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	上水道の加入促進事業	担当課・係	上下水道部　水道課　経営管理係
政策名　No	4　「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	5　安定した上下水道サービスの提供		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	水道事業の計画区域内人口普及率	%	90.38					
	水道事業の経常収支比率	%	103.80					

事業内容

・昭和39年4月供用開始。
・平成26年4月に二宮町より水道事業を譲り受ける。
・令和7年3月末現在の計画区域内人口　73,118人
・令和7年3月末の給水人口は、65,711人（普及率　89.9%）
・水道事業の経営安定化のため、新規配水管整備地区や加入率の低い地区への加入促進を強化し、経営の健全化と財政確保を図っていく。

前年度の課題（Check）

・既配水管敷設地区では、井戸水がまだ使用できるため、上水道への切替に難色を示す市民が多数おり、引き続き、どのような方法で加入促進を行うかが課題となっている。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業

・水道事業の経営安定化のため、今後も引き続き、水道装置設置資金貸付制度の周知や水道水の安全性などをHP、ウィークリーニュース等を通して広く周知し、加入促進に努める。
・令和７年度は、長島地区の拡張工事に合わせて、周辺地区の新規加入促進活動を行う。
・茨城県で実施されている「加入金免除制度」を参考に、栃木県に対して、県全体での加入推進に向けた要望事項の検討を進めていく。また、合わせて、市独自に「加入金の減免」または、「水道料金の減免」についても、費用対効果を見極めながら、導入の可否について検討を行う。

【2】結果と課題（Check）

・水道事業の普及啓発のための周知・PRによる加入促進活動を実施。
（水道週間：FMもおか・真岡ケーブルテレビ、水道施設見学会（石法寺高架水槽）、
水の週間展示会（monaca、市役所展示スペース、二宮コミュニティセンター）水道施設見学会）
・長島地区の当該工事地区へ回覧板による周知を実施。
・加入金及び水道料金の減免は、費用対効果、及び公平性の確保の観点から問題がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと

引き続き、周知・PRによる活動計画を立て、計画的に準備を進める。

(2) 長期的な計画で検討すること

今後、水道管の老朽化による更新工事が増加していくことに伴い、未加入者の把握と早期対応に努めていく。
「水道週間」、「水の週間」、「料金改定に関する広報」など機会を捉えた周知活動を実施していく。